

社員による社会貢献基金「フライングスター基金」車いす送迎車7台を寄贈

アステラス製薬株式会社（社長：野木森雅郁、以下「アステラス製薬」）の社員による社会貢献基金である「フライングスター基金」は、このたび会社とのマッチングギフト方式により、全国の7箇所の福祉施設に7台の車いす送迎車を寄贈することを決定しましたのでお知らせします。同基金による車いす送迎車の寄贈は、社会貢献活動の一環として1997年より毎年数台の規模で続けているもので、このたびの寄贈により累計で139台*¹となります。本基金の名称に使われている「フライングスター」とは、未来に向かって進む美しく輝く星を表すアステラス製薬のコーポレートシンボルの名称です。

本基金は、ささやかでも継続できる社会貢献活動を目的に、社員が中心となって1996年9月に発足した基金であり、人々の健康と福祉の向上に寄与することを活動目的としています。同基金への参加は社員の自由意思に委ねられていますが、現在、アステラスグループ社員約3,800名が参加しています。加入者は毎月の給与より100円を基金に積み立て、それに会社が同額を拠出したものを原資として年1回の寄付を実施する仕組みになっています。

今回寄贈する車両は、ダイハツの車いす移動車*²で、車いすにベルトフックをセットし、電動ウィンチで確実に巻き上げるよう設計された軽自動車です。寄贈先は、肢体が不自由な方々の自立支援や仕事のための施設などが選ばれました。寄贈された車は施設に通う際の送迎や屋外訓練時の移動などに役立てられる予定です。

<寄贈先>

北海道釧路市	: 「ふれあい」
埼玉県深谷市	: 「まきの木福祉会」
石川県金沢市	: 「ポレポレ」
奈良県橿原市	: 「わかくさ」
大阪府高槻市	: 「ひまわり」
兵庫県芦屋市	: 「芦屋市障がい児・者福祉会」
大分県佐伯市	: 「さいき未来21 フローレス」

アステラス製薬は、医療、健康、福祉、環境、文化など、さまざまな分野で地域社会とのふれあい活動や社会貢献活動を推進しています。その一環として社会貢献活動に積極的に取り組んでおり、「フライングスター基金」を通じた活動のほか、9月9日の「救急の日」には全国自治体へ救急自動車を寄贈するなど様々な活動を行なっています。

*1：2003年は記念事業として80台を寄贈。

*2：ダイハツ アトレスローパー（4WD）

以上